

中津市歴史博物館 羅漢寺石仏重要文化財指定 10 周年記念特別展

「羅漢の棲む処」を開催します。

担当：歴史博物館 三谷（電話 0979-23-8615）

中津市本耶馬溪町にある禅刹・羅漢寺は、暦応元年（1338）に僧・円龕昭覚によって開かれました。耶馬溪特有の岩壁や岩窟を羅漢の聖地・中国天台山に見立てた寺域には、あたかもそこで修行生活しているように五百羅漢の石仏が配置されています。石仏群の図像は中国の宋元時代に大陸で作成された五百羅漢図に共通し、禅宗の伝播・受容とともに日本に招来された文物や思想がベースとなって、石仏群が造られたことがうかがえます。羅漢信仰が広がった江戸時代には民衆の信仰を集め、参詣者が絶えない寺院として発展しました。このような背景が調査により明らかになった羅漢寺石仏は、歴史的・美術史的評価により平成 26 年（2014）に重要文化財に指定されました。本展覧会では指定 10 周年を記念して、羅漢寺石仏を取り巻く多様な文化財を展示紹介いたします。

特別展情報

会期：令和 7 年 3 月 15 日（土）～5 月 6 日（火・祝）

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：月曜日（5 月 5 日、6 日は祝日のため開館）

観覧料：一般 300 円、団体 100 円、中学生以下無料

見どころ

五百羅漢図の競演

日本に残る著名な五百羅漢図が一堂に会します。



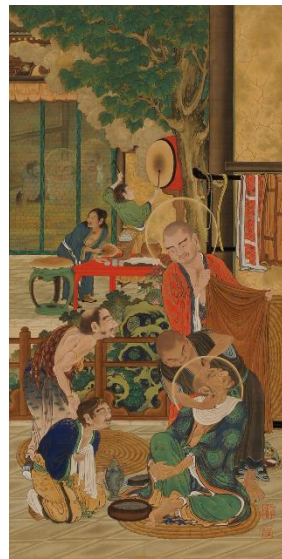
京都・大徳寺



鎌倉・円覚寺



京都・東福寺



東京・増上寺

東京目黒・五百羅漢の出品

羅漢寺五百羅漢をみて江戸に制作されたという、目黒の五百羅漢から3軀出品されます。



関連イベント

○記念講演会① 「羅漢寺石仏の特質と重要文化財指定」

講師：奥健夫（武蔵野美術大学教授）

日時：令和7年3月22日（土）13時30分～15時30分

場所：新中津市学校

※参加無料、要予約、中津市歴史博物館まで。

○記念講演会② 「大陸の絵画資料から見た羅漢寺の五百羅漢石仏」

講師：井手誠之輔（九州大学大学院教授）

日時：令和7年4月26日（土）13時30分～15時30分

場所：新中津市学校

※参加無料、要予約、中津市歴史博物館まで。

○トークセッション「ここを伝えたい！羅漢さんの魅力」

講師：岩田朋子（龍谷大学 龍谷ミュージアム学芸員）

西谷 功（花園大学准教授）

本多潤子（相国寺承天閣美術館学芸員）

日時：令和7年4月12日（土）13時30分～16時30分

場所：新中津市学校

※参加無料、要予約、中津市歴史博物館まで。

○ギャラリートーク

場所：中津市歴史博物館（展示室内）

日時：令和7年3月16日（日）10時～11時、4月19日（土）14時～15時

※要観覧料、予約不要

関連展示：福澤記念館「近代の耶馬溪と羅漢寺」

同期間にて福澤記念館で関連展示コーナーを設けます。

中津市歴史博物館特別展「羅漢の棲む処」併設展

写真展「五百羅漢修復 祈りの継承」を開催します。

担当：歴史博物館 三谷（電話 0979-23-8615）

特別展「羅漢の棲む処」（羅漢寺石仏重要文化財指定 10 周年記念）の併設展として、「五百羅漢修復 祈りの継承-修復家・長井武志による五百羅漢像（東京都指定有形文化財）修復の記録」を開催いたします。天恩山五百羅漢寺（東京都目黒区）に現存する五百羅漢像は、江戸時代の仏師・松雲元慶が、仏道修行の諸国行脚で豊前国・耶馬溪の名刹である羅漢寺（現・大分県中津市）を訪れ、羅漢寺の石仏に深く感銘を受けて彫刻したものです。現在も 305 体が一堂に残り、人々の信仰を集めています。本展では、長井武志氏が取り組んだ、五百羅漢像修復の記録写真（千代田路子）と映像（松山瑞樹）を通じて、文化財を未来へ継承する重要性を伝えます。

展覧会情報

会場：中津市歴史博物館オープンギャラリー 観覧料：無料

会期：令和 7 年 3 月 15 日（土）～ 5 月 6 日（火・祝）

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：月曜日（5 月 5 日、6 日は祝日のため開館）



中津市歴史博物館特別展「羅漢の棲む処」
（羅漢寺石仏重要文化財指定10周年記念）併設展

五百羅漢修復 祈りの継承

「五百羅漢修復 祈りの継承」展 メンバープロフィール

長井武志（仏像修復家）

東京藝術大学・大学院美術研究科（保存修復技術・彫刻専攻）修了。研究生、非常勤助手を経て（株）東京文化財修復所設立に参加。その後（有）古文化財保存修復研究所を設立、代表を務める。指定文化財（仏像・民俗資料等）を含む 300 体を超える修復に携わる。平成 14 年、目黒五百羅漢寺蔵普賢菩薩像の修復を皮切りに、令和 2 年までに 40 体の羅漢像等の修復を行う。

堀 研心（天恩山五百羅漢寺 執事・学芸員）

1975 年生まれ。大正大学仏教学部仏教学科（浄土学専攻）卒業 広島市立大学芸術学部美術学科（日本画専攻）卒業 広島市立大学大学院芸術学研究科絵画研究（日本画）修了、短期大学講師を経て、五百羅漢寺の執事・学芸員として仏教文化の発展と、自己の絵画制作の研鑽に励む。

千代田路子（写真作家）

東京都出身。写真作家。主に記憶や祈りにまつわる物語を作品化している。仏像修復の工程を記録したドキュメンタリー作品では、展覧会開催や出版などを通じて、文化財の保存・継承を啓蒙するプロジェクトを展開している。国内外で個展を開催し、多くの展示会に参加、コンテストでの受賞、美術館や写真財団での作品收藏の実績がある。

松山瑞樹（映像作家）

福島県福島市出身。独学で写真を学び、営業写真を経てフリーランスフォトグラファーとして活動。東日本大震災被災後、福島を離れ現在は会社員として光学メーカーにて技術マーケティング及び技術評価を担当。写真制作に加え、近年では映像制作に取り組む。『たった一人でも良い。発想の触媒となる写真・映像作り』をテーマに制作活動を進行中。




羅漢の棲む処

羅漢寺石仏重要文化財指定10周年記念特別展



令和7年

3/15(土) ▶ 5/6(火)

 中津市歴史博物館

開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(5/5・6は祝日・休日のため開館)

観覧料：一般300円、団体100円(20人以上)

中学生以下無料、障がい者割引有

令和6年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

五百羅漢図(大徳寺所蔵/奈良国立博物館画像提供)・五百羅漢図(東福寺所蔵)・
五百羅漢図(大徳寺所蔵)・五百羅漢図(東京国立博物館所蔵/Image TNM Image
Archives)・五百羅漢図(増上寺所蔵)

中津市本耶馬溪町にある禅刹・羅漢寺は、暦応元年(1338)に僧・円龜昭覚によって開かれました。耶馬溪特有の岩壁や岩窟を羅漢の聖地・中国天台山に見立てた寺域には、あたかもそこで修行生活しているように五百羅漢の石仏が配置されています。この羅漢像は、正平14年(1359)に入山した僧・逆流建順が円龜とともに企画し造立したものです。石仏群の図像は宋元時代に大陸で作成された五百羅漢図に共通し、禅宗の伝播・受容とともに日本に招来された文物や思想がベースとなって、石仏群が造られたことがうかがえます。羅漢信仰が広がった江戸時代には民衆の信仰を集め、参詣者が絶えない寺院として発展しました。このような背景が調査により明らかになった羅漢寺石仏は、歴史的・美術史的評価により平成26年(2014)に重要文化財に指定されました。本展覧会では指定10周年を記念して、羅漢寺石仏を取り巻く多様な文化財を展示紹介いたします。



巨漢有年空翠巨遠に羅漢聖地耶馬溪行
實曰國師曰羅漢寺建順清衆羅師建順慧
日聖光國師曰羅漢寺建順清衆羅師建順慧
建順為首自餘不可悉載高師之受業以中
航海揚揚銘於用章使公使揮毫寫字紀德
丁未年三月廿二日建順書

中津市歴史博物館
〒871-0057
大分県中津市1290番地(三ノ丁)
TEL(0979)23-8615
FAX(0979)23-8616
開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日:月曜日(祝日の場合その翌日)
駐車場:22台



<https://nakahaku.jp>



EVENT

要予約 参加無料

会場:新中津市学校 定員60名
申し込みは中津市歴史博物館まで

01 記念講演

羅漢寺石仏の特質と重要文化財指定

講師 奥健夫氏 (武蔵野美術大学教授)

令和7年3月22日(土) 13:30~15:30

02 記念講演

大陸の絵画資料から見た 羅漢寺の五百羅漢石仏

講師 井手誠之輔氏 (九州大学大学院教授)

令和7年4月26日(土) 13:30~15:30

トークセッション

ここを伝えたい!羅漢さんの魅力

講師 岩田朋子氏 (龍谷大学龍谷ミュージアム学芸員)

西谷功氏 (花園大学准教授)

本多潤子氏 (相国寺承天閣美術館学芸員)

令和7年4月12日(土) 13:30~16:30

※講師は肩書きは3/15現在



ギャラリートーク 予約不要・要観覧料

第1回
令和7年3月16日(日)
10:00~11:00

第2回
令和7年4月19日(土)
14:00~15:00

1:五百羅漢図(大徳寺所蔵/奈良国立博物館画像提供)/2:五百羅漢図(円覺寺所蔵/鎌倉国宝館画像提供)/
3:五百羅漢図(東福寺所蔵)/4:五百羅漢図(増上寺所蔵)/5:仏伝浮彫「マラの誘惑・降魔成道・初転法輪」
(龍谷ミュージアム所蔵)/6:木造五百羅漢像(五百羅漢寺所蔵)/7:三光国師碑銘(雲樹寺所蔵)
8:石造敬善童子像(宝蔵寺所蔵)



写真展 同時開催 観覧無料

五百羅漢修復 祈りの継承
(東京目黒・五百羅漢寺)
写真:千代田路子 映像:松山瑞樹
令和7年
3月15日(土)~5月6日(火)
会場:中津市歴史博物館
オープンギャラリー



修復家・長井武志による
五百羅漢像(重要文化財)修復の記録

羅漢の棲む処

羅漢寺石仏重要文化財指定10周年記念特別展